

# 2021年9月期 第2四半期 決算説明会資料

三洋貿易株式会社(証券コード：3176)

- 2021年9月期 第2四半期実績
- 2021年9月期見通し
  - 中長期的施策



## 2021年9月期 第2四半期実績

- 2021年9月期見通し
  - 中長期的施策

# 2021年9月期 第2四半期 業績のポイント

## 幅広い産業で生産活動が活発化

- \* 前年同期比で増収増益
- \* 期首計画から大幅上方修正
- \* 日系自動車メーカー等関連産業で増産継続
- \* 海外拠点も素材需要、自動車生産が好調

# 連結実績表

(単位：百万円)

	2020年9月期 2Q	2021年9月期 2Q			2021年9月期		
	金額	実績(A)	前期比	構成比	期初計画 (2020/11/6公表)	修正計画(B) (2021/5/11公表)	進捗率 (A)/(B)
売上高	40,977	45,525	+11.1%	100.0%	82,000	88,000	51.7%
売上総利益	7,757	8,463	+9.1%	18.6%			
<売上総利益率>	18.9%	18.6%	-	-			
販売費及び 一般管理費	4,809	4,828	-	10.6%			
営業利益	2,947	3,634	+23.3%	8.0%	4,000	6,000	60.6%
経常利益	3,184	4,018	+26.2%	8.8%	4,200	6,300	63.8%
<経常利益率>	7.8%	8.8%	-	-	5.1%	7.2%	-
親会社株主に帰属 する四半期純利益	2,114	2,667	+26.1%	5.9%	2,700	4,200	63.5%
EPS(円)	73.87	93.12	-	-	94.27	146.59	-
配当(円)	18.5	19.0	-	-	37.5	38.0	-

# 計画修正の要因

- コロナ感染症拡大が業績に与える影響は想定よりも限定的でした。自動車業界を中心とした増産継続により、需要は急回復しました。

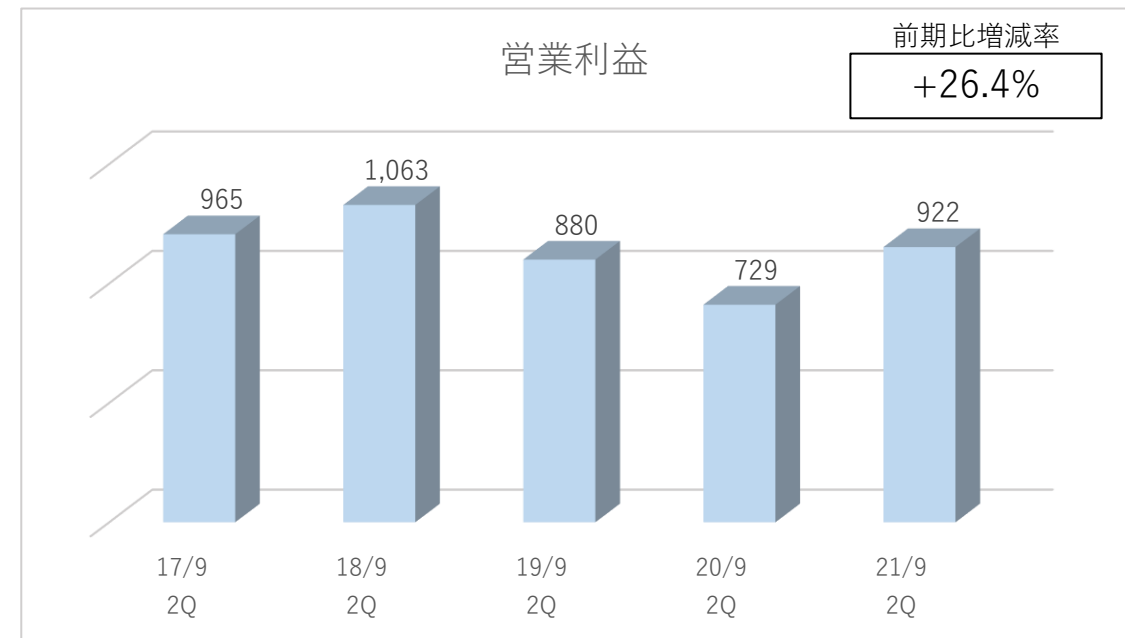
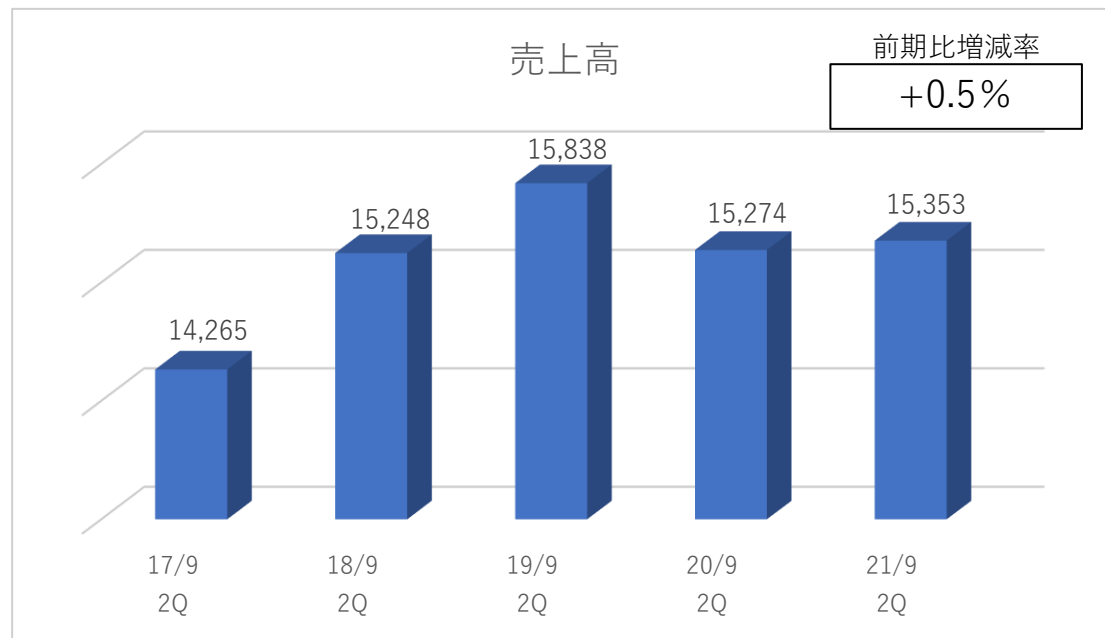
セグメント	事業部	2020年9月末想定 コロナの影響	実際の影響・現状	影響
化成品	ゴム	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車/建機向け需要減</li> <li>新規拡売の停滞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車/OA/建機用途で需要急増</li> <li>仕入先減産や物流混乱などで供給逼迫</li> </ul>	↑
	化学品	<ul style="list-style-type: none"> <li>塗料/インキ関連の需要減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幅広い産業で原材料の需要増</li> <li>食品添加物の三洋ライフマテリアルも好調</li> </ul>	↑
機械資材	産業資材 第1/第2	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車生産台数大幅減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車生産台数の急回復により高水準の生産継続</li> </ul>	↑
	機械・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>地方自治体との面談機会減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>飼料用造粒機は底堅く推移</li> <li>消耗品や保守サービスが好調</li> </ul>	→
	科学機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>デモ/展示会の中止(機会喪失)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Webを活用した非接触納品方式が実現</li> <li>コロナ対策関連機器の需要旺盛</li> </ul>	↑
海外		<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車生産台数大幅減(中国を除く)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車生産台数の急回復に伴い大幅増</li> <li>幅広い産業で原材料の需要増</li> </ul>	↑

# セグメント情報 1

## 化成品

### ゴム事業部、化学品事業部

(単位：百万円)



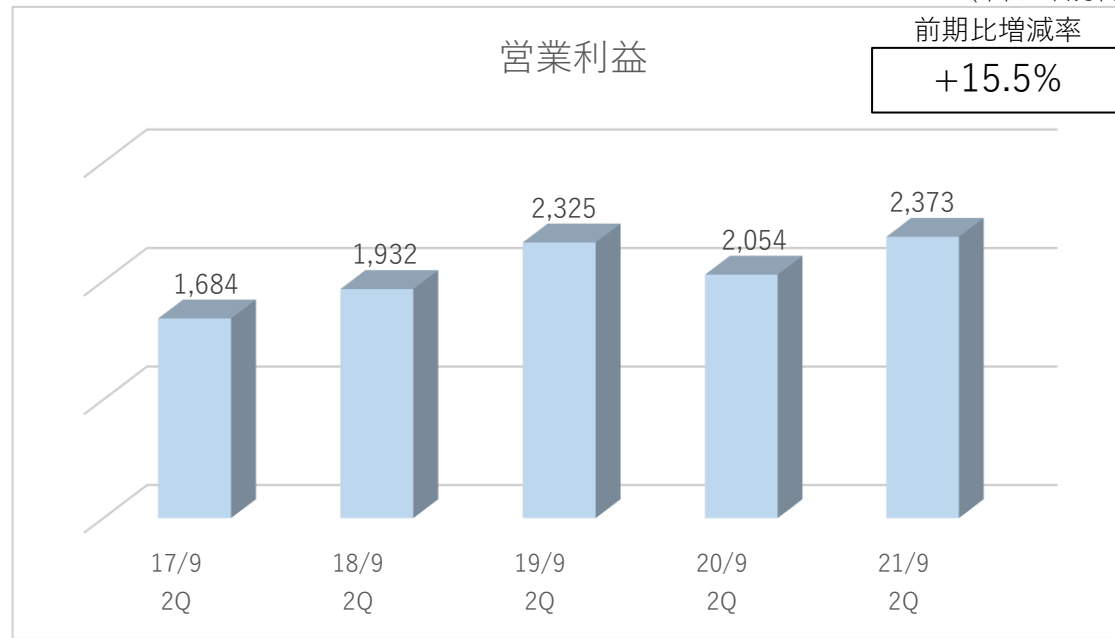
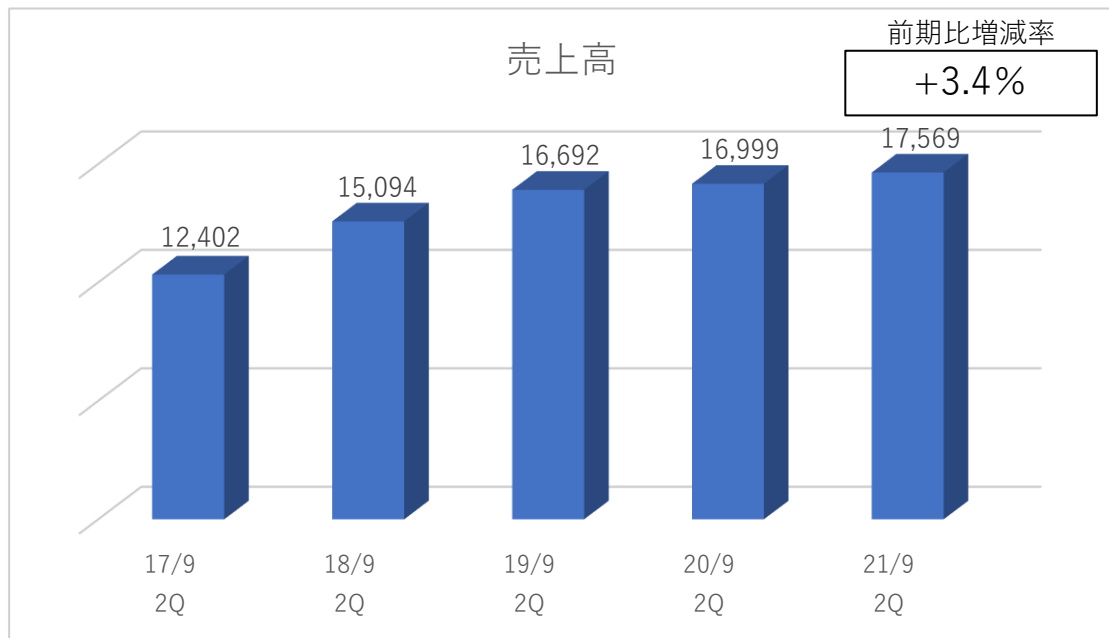
- ・ ゴム事業は自動車用途に加えOA/医療/建機用途も需要回復、放熱剤向け機能性フィラーも好調。
- ・ 化学品事業はUVインキ原料が牽引、電子材料およびフィルム関連の輸出も好調。
- ・ ケムインターの韓国向け電材輸出、三洋ライフマテリアルの食品添加物および飲料業界向けHot Melt堅調。
- ・ 子会社ワイピーテックを機械資材セグメントへ移管。

# セグメント情報 2

## 機械資材

産業資材第一/第二事業部、機械・環境事業部、科学機器事業部

(単位：百万円)



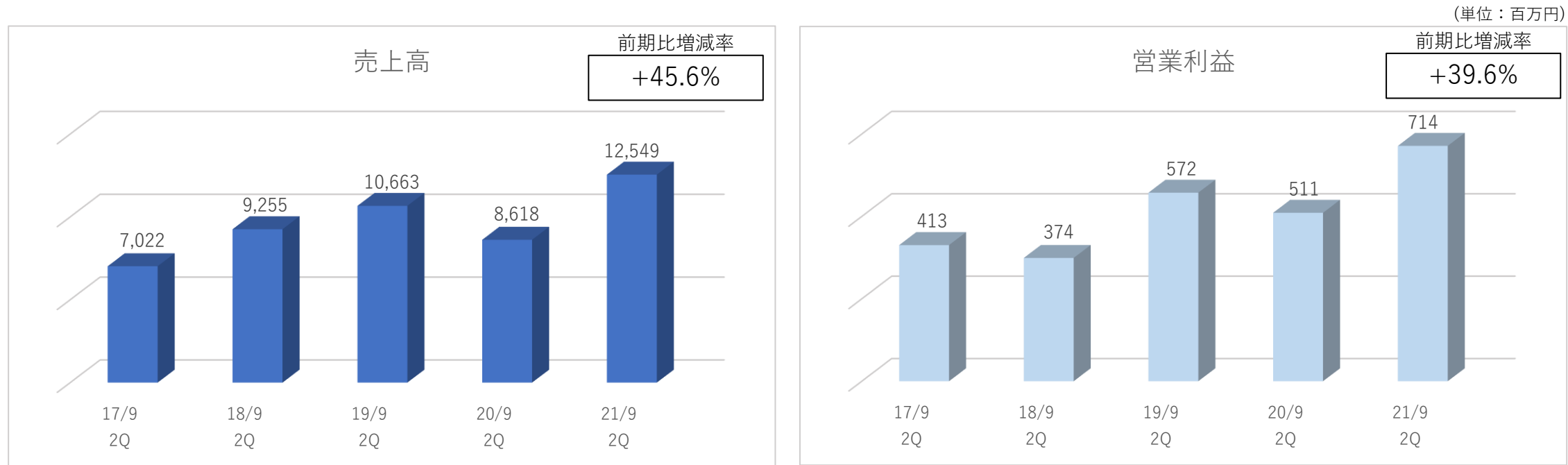
- ・ 産業資材事業は国内自動車メーカーの生産復調し、特にシート用ヒーターやランバーサポート好調。
- ・ 機械・環境事業は飼料用造粒機の本体納入が堅調、消耗品や保守サービスも順調。
- ・ 木質バイオマス機器の北海道当別町大型案件は3Q竣工に向け最終段階。
- ・ 子会社ワイピーテックは事業シナジーをより追及するため当期から機械・環境事業部管轄。



# セグメント情報 3

## 海外現地法人

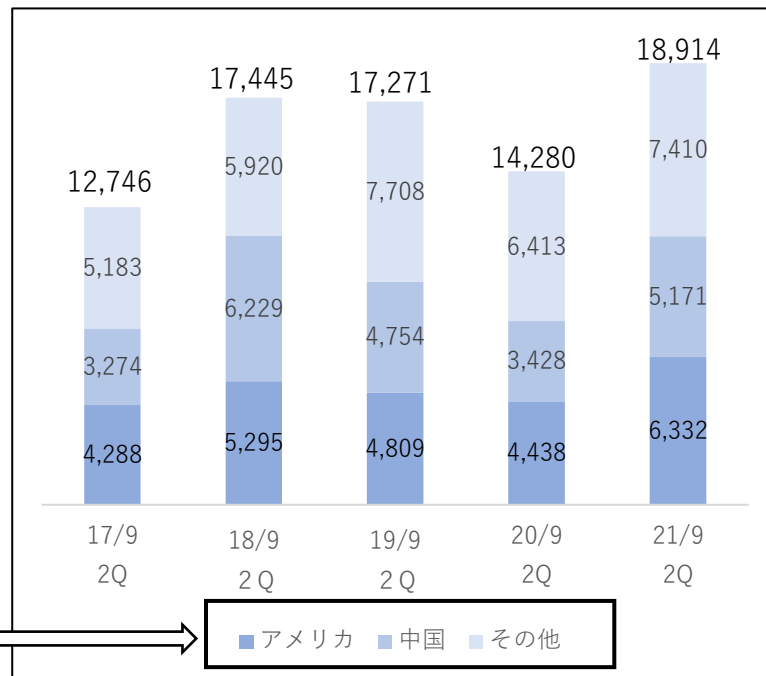
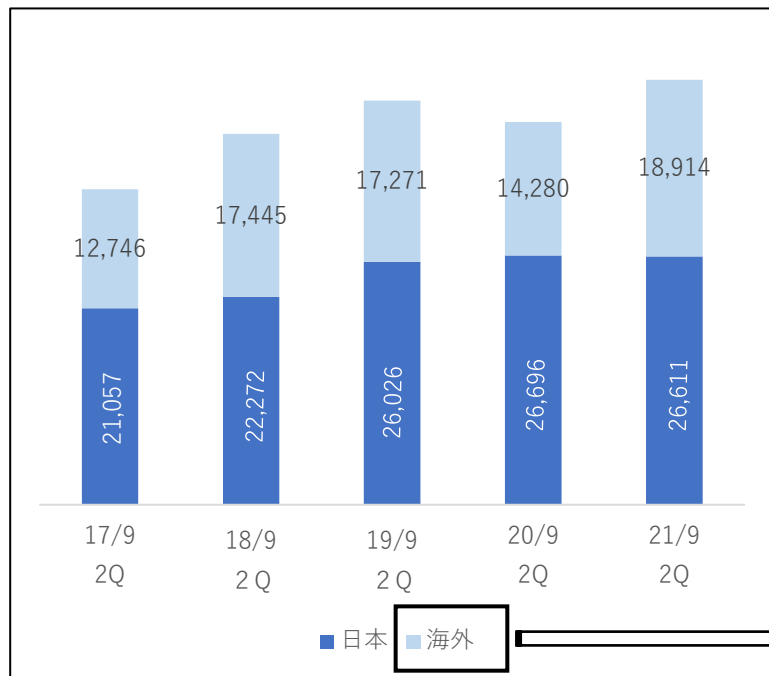
アメリカ、中国、タイ、ベトナム、メキシコ、インドネシア



- ・ 米国／中国／タイの三大拠点揃って好調、日系自動車メーカーの海外生産復調が主要因。
- ・ 米国はオムツ用高吸水性樹脂の販売増加、中国製自動車部品の関税負担増加と販管費増加で営業利益は微増。
- ・ 中国は自動車部品の需要旺盛、タイは合成ゴムの需要回復。
- ・ 当期からインドネシア現法を連結化、合成ゴムを中心に化成品関連商材の開拓に注力。

# 仕向国別売上高

(単位：百万円)



仕向国	売上高	前期比増減率	構成比
日本	26,611	▲0.3%	58.5%
アメリカ	6,332	+42.7%	13.9%
中国	5,717	+50.9%	11.4%
その他	7,410	+15.5%	16.3%
合計	45,525	+11.1%	100.0%

## 変動要因

日本	アメリカ	中国	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>全事業部で幅広い産業向けに需要回復。</li> <li>特に自動車関連商材が牽引。</li> <li>前期計上した大型特殊機械案件の剥落。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高吸水性樹脂の需要が大幅に増加。</li> <li>通信機器向け機能性フィルターの販売増加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日系自動車メーカーの復調いち早く、その後も好調を維持。</li> <li>前期はコロナの影響有り。</li> <li>リチウムイオン電池用のフィルム/接着剤ビジネス新規獲得。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>タイは自動車用途中心に合成ゴムの需要回復、シート関連センサー等自動車部品も順調。</li> <li>ベトナムは遮熱塗料、メキシコは自動車内装部品増加。</li> </ul>

# 営業利益増益要因分析

- 3事業セグメントで増益

(単位：百万円)



■ 2021年9月期 第2四半期実績



2021年9月期見通し

■ 中長期的施策

# 2021年9月期見通し

- ▲ ゴム・化学品の素材関連商材は下半期も堅調。
- ▲ 木質バイオマス大型案件とコスモス商事レアアース案件が実現。
- ▼ 日系自動車メーカーの反動増産は一服、コロナ感染症再拡大、半導体部品・樹脂部品の供給問題の影響を一部織り込む。

(単位：百万円)

	2020年9月期			2021年9月期				
	実績	前期比	構成比	期初計画 (2020/11/6公表)	修正計画 (2021/5/11公表)	増減率(%)	前期比	構成比
売上高	76,087	▲8.6%	100.0%	82,000	88,000	+7.3%	+15.7%	100.0%
売上総利益	14,206	▲4.6%	18.7%	-	-	-	-	-
販売費及び 一般管理費	9,414	+4.5%	12.4%	-	-	-	-	-
営業利益	4,791	▲18.4%	6.3%	4,000	6,000	+50.0%	+25.2%	6.8%
経常利益	5,271	▲13.2%	6.9%	4,200	6,300	+50.0%	+19.5%	7.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,013	▲25.0%	4.0%	2,700	4,200	+55.6%	+39.4%	4.8%
EPS(円)	105.22	-	-	94.27	146.59	-	-	-

# セグメント別 上半期進捗状況①

セグメント	機械資材					
事業部	産業資材第一/産業資材第二		機械・環境		科学機器	
	前期末 決算説明会資料	進捗	前期末 決算説明会資料	進捗	前期末 決算説明会資料	進捗
<b>期待</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存販路を活用した新規商材の開発および横展開</li> <li>顧客対応の迅速化・顧客と仕入先双方との関係深化を目的に事業部を二分割</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶<b>新規商材のラッチリリースアクチュエーターが一部SUVに採用、EV用バッテリー関連商材など新規商材の提案継続</b></li> <li>▶新規商材の車両3Dデータ、ベンチマークサービス拡販注力</li> <li>▶二事業部制は順調な滑り出し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>畜産はワイピーテックと粉体Gのシナジー</li> <li>バイオマスは当別町大型案件始動</li> <li>南鳥島レアアースPJ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶飼料会社向けに生産効率向上やコスト改善提案を共同実施</li> <li>▶木質バイオマス当別町PJは予定通り機材搬入、遠隔試運転実施</li> <li>▶<b>コスモス商事レアアースPJはコロナの影響あるも一部納入済</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バイオテクノロジー関連機器</li> <li>新素材構造解析機器</li> <li>三洋テクニカルセンター（仮称）竣工</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ライフサイエンス関連商材の吸入製剤試験装置が好調</li> <li>▶<b>提携大学へのデモ機設置を完了しデモ測定を本格開始</b></li> <li>▶三洋テクニカルセンターの5月末竣工は予定通り</li> </ul>
<b>懸念</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内・海外競合先との競争激化</li> <li>原価低減圧力</li> </ul>	▶同左	<ul style="list-style-type: none"> <li>電力固定価格買取制度、系統連系の動向</li> </ul>	▶同左	<ul style="list-style-type: none"> <li>科学研究費助成事業の低減</li> </ul>	▶同左

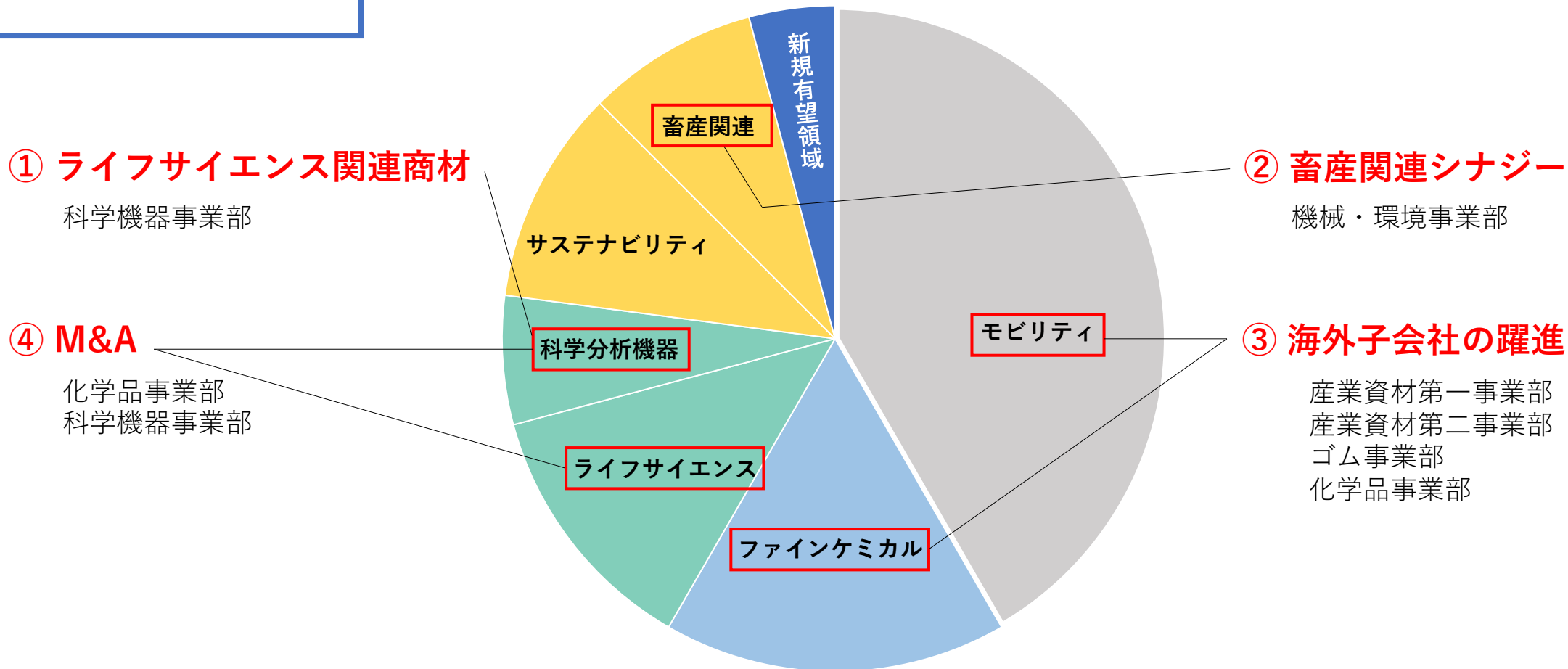
# セグメント別 上半期進捗状況②

セグメント	化成品				海外	
	ゴム		化学品		前期末 決算説明会資料	進捗
事業部	前期末 決算説明会資料	進捗	前期末 決算説明会資料	進捗		
<b>期待</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• アランセオ合成ゴムの競争力向上</li> <li>• ダウ東レの Authorized代理店指定</li> <li>• 環境配慮型素材/機能性フィルターの新規開拓</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 世界的な供給制限と輸送の遅延で在庫逼迫、アランセオと当社の連携のもと綱渡りの供給を確保</li> <li>▶ シリコンも供給逼迫、需要対応のためダウ東レ緊密に連携のうえ供給対応</li> <li>▶ 機能性フィルターは電子機器向けの放熱用途に販売増</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 塗料、インキ向け添加剤の回復</li> <li>• 三洋ライフマテリアルを軸にライフサイエンス分野強化</li> <li>• (株)グローバル・トレーディング買収</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 環境配慮の観点からUVインキの需要増加傾向、コロナ以前の状況に回復</li> <li>▶ 天然由来の食品添加物など需要増加</li> <li>▶ 北米向けタウリン（ペットフード添加物）の輸出継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 北米吸水性樹脂の販売増</li> <li>• 中国市場の回復</li> <li>• STA(タイ)レムチャバン事務所開設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 北米大手量販店向けのオムツ用途を中心に高吸水性樹脂の需要増加</li> <li>▶ 中国の日系自動車メーカーの反動増産後も需要継続</li> <li>▶ タイ・レムチャバン事務所は予定通り開設</li> </ul>
<b>懸念</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 汎用分野の価格競争激化</li> <li>• 原価低減圧力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 化学メーカーの供給逼迫とコンテナ不足等で価格よりも玉確保が喫緊の課題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• PFOA規制強化の開始延期</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 需要家による当社商材の評価が順調に進行中</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自動車部品原価低減圧力</li> <li>• 自動車部品の米中貿易関税</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 同左</li> <li>▶ 中国製モーターの米国関税適用除外期間終了、一部負担増</li> </ul>

# 注力市場

## 上半期4トピック

### 当社事業領域 ありたい姿





# 2021年9月期上半期のトピック①

機械資材  
セグメント

科学機器  
事業部

ライフ  
サイエンス

## 英COPLEY社 吸入製剤試験装置

ライフサイエンス関連商材として出荷台数増加



吸入製剤試験装置とは、喘息やインフルエンザ、肺高血圧症などの治療にも使われる吸入製剤の送達量や粒子径の試験を行う機器です。

薬剤を肺へダイレクトかつ効果的に吸入する方式がコロナ禍で注目され、製薬メーカーの試験装置として採用が続いております。

英国COPLEY社製品は世界で最も普及している機器の一つです。



# 2021年9月期上半期のトピック②

機械資材  
セグメント

機械・環境  
事業部

ライフ  
サイエンス

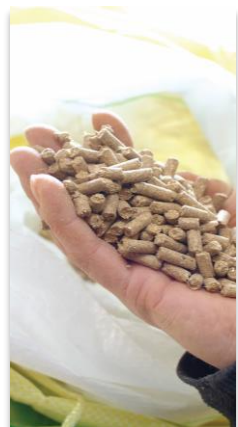
## 畜産事業シナジー

## 国内飼料会社へペレット飼料製造の為の提案強化

- ▶ ワイピーテックの機能性飼料添加物提案と粉体グループによるCPM社ペレットミル設備条件調整などのサポートにより、飼料会社のペレット飼料製造の生産効率・作業効率・品質向上に繋がる提案を積極的に共同で進めております。

### 【シナジーによる導入試験の進め方例】

<機能性飼料添加物>



ワイピーテック

飼料会社に対して、ワイピーテックが長年培った配合知識を生かし、顧客の配合飼料に合った配合をアドバイスします。併せて、粉体グループからの技術アドバイスに基づき、最適な設備条件を決定します。

<飼料用造粒機>

機械・環境事業部  
粉体グループ



試験当日は、試験立ち合いを行い、ペレット製造設備を調整しながら、飼料会社が求めるペレット品質になるように試験を行います。  
飼料会社任せの受け身営業ではなく、総合的にサポートして、顧客に最適解を提供できるよう努めています。

# 2021年9月期上半期のトピック③

海外子会社  
セグメント

## 海外子会社の躍進

自動車生産の急回復を中心に、幅広い素材で需要回復、海外拠点全般が好調

### アジア

#### 1)合成ゴム



特長) 仕入先アランセオとの強固な関係性、アジア圏でも供給体制構築

#### 2)自動車内装部材

#### 3)化学品

Sanyo Trading Asia Co., Ltd.  
Sanyo Trading (Viet Nam)  
PT. Sanyo Trading Indonesia

### 中国

#### 1)自動車内装部材



特長) 人間工学に基づいた快適性の追求、系列なく日系OEMに幅広く採用

#### 2)化学品

三洋物産貿易(上海)

### 北米

#### 1)高吸水性ポリマー



特長) 自重の数百倍の水を吸収するSAP、吸水性と保水性に優れる

#### 2)工業用フィルム

#### 3)自動車内装部材

Sanyo Corporation of America  
Sun Phoenix Mexico

# 2021年9月期上半期のトピック④

## M&A

相乗効果・成長性・海外展開を目的として2件実現

### (株)グローバル・トレーディング

化成品  
セグメント

化学品  
事業部

ライフ  
サイエンス

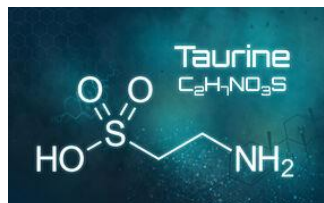
契約締結日：2020年11月6日

出資比率：100%

事業内容：食品原料・化粧品原料・工業薬品の輸出版売

#### 【シナジー】

- 当社グループが注力するライフサイエンス分野の強化及び海外拠点のネットワーク活用による事業拡大。
- 主力商材の国産合成タウリンは、ヒト・猫・一部魚類にとって必須物質であり安全性の高い日本製品は需要拡大が見込まれる。（現在世界の供給は中国製品90%、残り10%が日本製品）
- 国内タウリンメーカー（2社のみ）本荘ケミカル(株)の輸出版売を当社が担っており、2021年に新設プラントが稼働し生産能力を大幅に増強、今後取扱高の増加が期待される。



### (株)テストマテリアルズ

機械資材  
セグメント

科学機器  
事業部

ライフ  
サイエンス

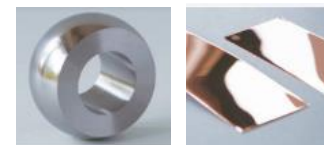
契約締結日：2020年12月9日

出資比率：100%

事業内容：研究用純金属・合金・非金属の販売

#### 【シナジー】

- 子会社三洋テクノス(株)が買収、当社の孫会社化。
- 研究機器向けの試験片及び部材を独自の仕入ルート及び加工ノウハウで付加価値を付与し調達、三洋テクノス及び三洋貿易科学機器事業部が取扱う理化学研究機器事業（主にトライボロジー関連）との相乗効果が期待される。



※試験片の一例



■ 2021年9月期 第2四半期実績

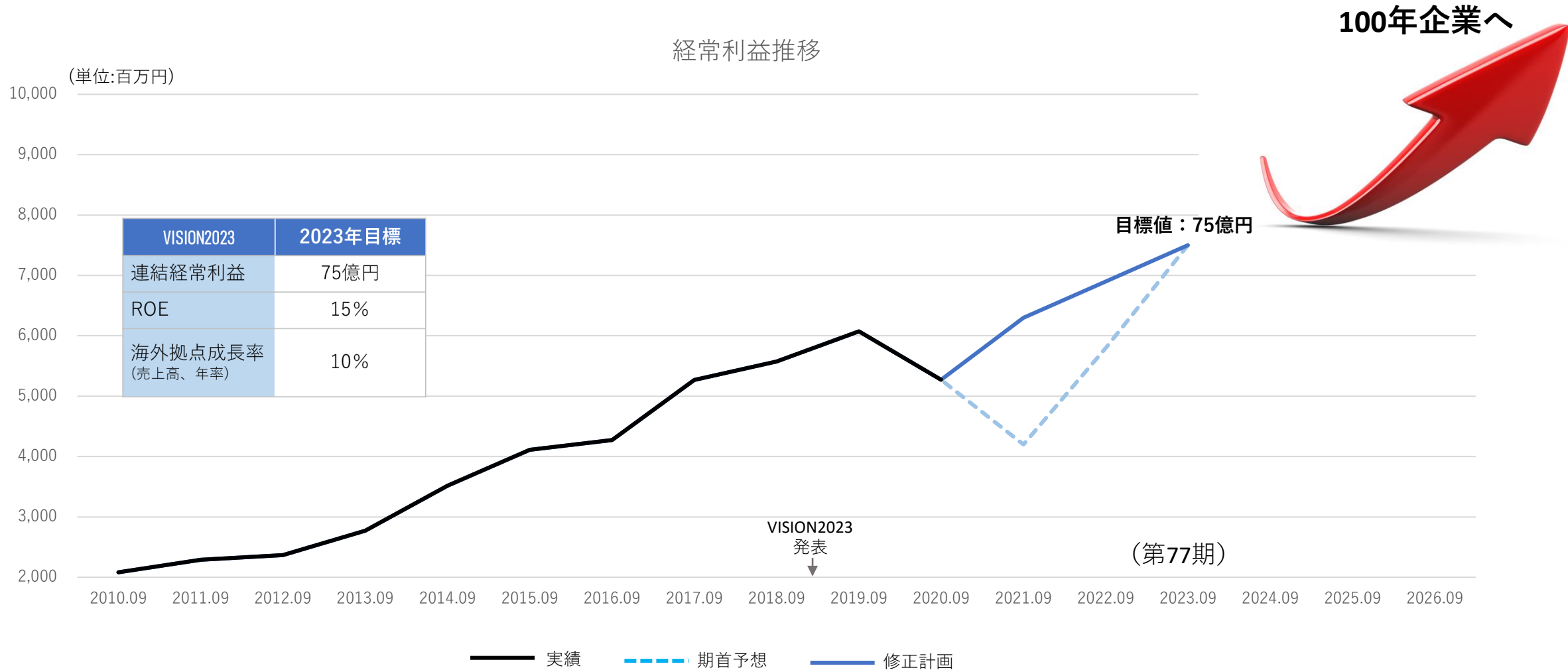
■ 2021年9月期見通し



中長期的施策

# VISION2023

- 業績見通し修正とVISION2023達成への道筋



# 経営理念

“堅実と進取の精神、自由闊達な社風のもと、柔軟かつ迅速に最適解を提供し、国際社会の永続的な発展と従業員の幸福を共創する”



## 事業理念

ゴム事業部	長きにわたって蓄積した信用と実績を基盤とし、パイオニア精神とタイムリーなサービスで世界のゴム産業発展に寄与する。
化学品事業部	幅広い技術知識とニッチなスペシャルティ商材の取扱いで最適なソリューションを提供し、かつ積極的な資本投下を行うことで、ファインケミカル分野の発展に寄与する。
産業資材第一事業部 産業資材第二事業部	社会に変革をもたらす先端技術を、機動力と知見、ジャスト・イン・タイムの体制を通じ顧客へ展開し、モビリティ分野を中心に社会の発展に寄与する。
機械・環境事業部	粉体加工、木質バイオマスの分野で海外の優れた技術と設備を発掘・提供し、食の安全と再生可能エネルギーの推進に寄与する。
科学機器事業部	科学、医療、産業の発展に寄与する機器の提供を通じて、技術の進歩と人々の健康に貢献する。

# 理念実現に向けての施策

戦略	概要	上半期の具体的施策
A. 最適解への挑戦	<ul style="list-style-type: none"> <li>VISION2023推進チームにて推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営陣を中心メンバーとした定例会実施、理念浸透策を討議・実行</li> </ul>
B. 企業基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>テレワーク体制の整備</li> <li>事務処理のIT化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>テレワーク体制完備</li> <li>費用精算処理のIT化整備中</li> </ul>
C. 人材への投資	<ul style="list-style-type: none"> <li>社内研修制度の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>全社員へのe-Learning導入済の他、各種研修企画中</b></li> </ul>
D. 事業領域の深化	<ul style="list-style-type: none"> <li>市場混乱期における既存商材の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一商品一仕入先の真価を発揮</li> <li>環境配慮型商材の積極的取扱い</li> </ul>
E. 新規ビジネスの開拓	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業開発室による事業部横断的な新規ビジネス推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>新規ビジネスの種蒔き推進</b></li> <li><b>ベンチャー企業とのビジネスマッチング参加</b></li> </ul>
F. グローバル展開の加速	<ul style="list-style-type: none"> <li>日系メーカーの海外製造増強の動きをビジネスチャンスと捉える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>タイ国レムチャバン事務所開設</b></li> <li><b>米国アラバマ事務所開設</b></li> </ul>
G. 新規投資案件の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>M&amp;Aによる事業ポートフォリオの拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グローバルトレーディング買収</li> <li>テストマテリアルズ買収</li> </ul>



# 持続的発展への取組み

- 当社の持続的な成長に向けた取組みをまとめたコーポレートレポートを2020年12月に発行



		重要課題	概要	主な取組み
		環境負荷低減への取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>石油由来の原料から環境負荷低減素材、自然由来原料への移行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フタル酸不使用の可塑剤</li> <li>バイオマス由来のカーボンブラック</li> <li>UVインキ/UVコーティング原料</li> </ul>
気候変動への取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>再生可能エネルギーを通じた持続可能な社会への貢献</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>木質バイオマス熱電併給装置販売、メンテナンス</li> <li>地熱開発機械の供給</li> </ul>		
希少資源獲得への貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>レアアース揚収技術の確立に向けた貢献</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>レアアース揚収実証実験における揚収パイプ、浮力体等の調達・供給</li> </ul>		
職場環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育研修制度の充実や職場環境のより一層の改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外研修生制度</li> <li>テレワーク体制の整備</li> <li>ユニバーサルマナー検定</li> </ul>		
ガバナンスの強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>コーポレート・ガバナンス体制の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガバナンス体制の整備</li> <li>社外取締役 3分の1 以上</li> <li>指名・報酬委員会の設置</li> </ul>		



当社HP掲載  
[https://www.sanyo-trading.co.jp/images/csr/report2020\\_a3.pdf](https://www.sanyo-trading.co.jp/images/csr/report2020_a3.pdf)

# 持続的発展への取組み①



## 国産材による木質バイオマス発電（再生可能エネルギー）の普及に注力

- 北海道2例目となる当別町プロジェクトは2021年6月竣工予定
- 貴重な国内資源である未利用間伐材を有効活用した地産地消を促進

### 当別町バイオマス発電所

- ✓ 当社はブルクハルト熱電併給装置6基納入、また工場全体の施工も担当。
- ✓ 下川町バイオマス発電所で製造した木質ペレットを利用。
- ✓ 年間で2,000世帯以上の需要に相当する電気を供給予定。



下川町産の木質ペレット



### 下川町バイオマス発電所 (2019年5月竣工)

- ✓ 日本初となる木材投入から発電まで自動制御で行う本格的な欧州式を導入。当社は熱電併給装置11基と関連機器を含むEPCを実施。
- ✓ ペレットの原料にも用いられる日本国内の間伐材は、年間約2,000万m<sup>3</sup>がほぼ未利用のまま森林に残置されている。
- ✓ 当社納入のCPM社ペレットミルで木質ペレットを製造、下川町だけでなく当別町のバイオマス発電所でも活用を図る。



# 持続的発展への取組み②



## 生物多様性の重要性に注目、事業を通じた社会貢献



- 経団連「生物多様性宣言イニシアチブ」へ賛同
- 子会社コスモス商事が取扱う海洋機器を活用した生態系と環境のモニタリング

### 三洋貿易株式会社

<https://www.sanyo-trading.co.jp/>



#### 《将来に向けた取組方針》

**海洋機器によるモニタリング** 海を取り巻く環境は、日々変化している。その中で、太陽光と一定の海水温が生息条件である珊瑚は、亜熱帯の沖縄に約380種生息し、珊瑚の地球北限生息域である館山湾では約30種が確認されている。近年、地球温暖化の影響により世界各地で珊瑚の種類が増え、まさに珊瑚は海の状態を示すバロメーターとなっている。残念ながら、1990年代から世界各地でサンゴ礁の白化現象が散見されることから、今後、珊瑚から海の状態を把握するためにも、子会社・コスモス商事が海洋機器によるモニタリングを進めていく。

#### 《具体的取組み事例》

##### サンゴ生態調査（沖縄県恩納村）

サンゴの養殖場もある恩納村沿岸でのBoxfish360カメラ（水中360°カメラ）による海底撮影の様子。クマノミやロクセンズメダイの群れにも遭遇。



Boxfish 360カメラ  
(Boxfish Research製)

- 恩納村沖の珊瑚礁及び養殖珊瑚の生態系分布
- 珊瑚の白化状況について把握

#### 《今後の課題等》

海のマイクロプラスチックが珊瑚の体内に残ることが確認されている。今後、この問題が珊瑚の生態系そして地球温暖化に及ぼす影響を検証していく。

#### 《社会に向けたメッセージ》

我が国の豊かな海洋生態系を次世代に引き継ぐため、海洋機器を通じ、海の状態の把握に貢献していく。

- コスモス商事の海洋機器は、サンゴの生態に及ぼす地球温暖化の影響の検証に使用されています。
- 水中ドローンは、2021年1月の八景島沖海底の海ゴミ調査(JAMSTEC)、3月の下田沖海底砂採取調査(科学博物館)など多くの海洋環境調査に起用されています。

# 持続的発展への取組み③

8



働きがいも  
経済成長も

9



産業と技術革新の  
基盤をつくらう

12



つくる責任  
つかう責任

## 職場環境改善への取組み

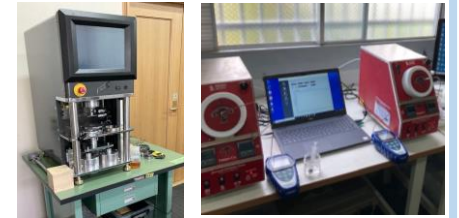
- 科学機器事業部のメーカー機能を集約したテクニカルセンターが2021年6月より本格稼働
- 安全性や作業環境が大幅に改善され、グループ内に分散していた設計・開発・製造・販売・保守サービスを一元化



所在地：埼玉県川口市南鳩ヶ谷

### 三洋貿易 科学機器事業部

子会社三洋テクノス(株)の作業場に設置していたデモ機をテクニカルセンターに集約、大型機器に対応可能なデモルームを新設し拡販活動を強化。



### 三洋テクノス

食品製造ラインなど多様な用途で使われるチューブ式ローラーポンプを製造。築31年の手狭となった工場から移転、作業効率化や配送合理化とともに事業シナジーを追求。






### 新東洋機械工業

耐蝕ポンプ製造、国内外の化学プラント向けに多くの納入実績を有する。築36年の老朽化した工場から移転、安全面強化と動線の効率化を図る。新たにゴム加硫窯を導入し重要部品を内製化、ゴムライニング技術者の育成へ取り組む。



# 持続的発展への取組み④




**すべての人の平等と、平和であるための取組みを一步一步推進**

## <ユニバーサルマナー検定 実施>

“自分とは違う様々な人への「心くばり」を三洋貿易グループ全社員が身につけること”を目標に開始したユニバーサルマナー検定の社内講習は、コロナ禍においてもWebにて開催、3月末現在で過半数の社員が3級認定を取得しました。

多様な人々に向き合うためのマインドとアクションを学び、街中で困っている人に声をかける。小さな一歩かもしれませんが、社員全員が自分にできる事を一步一步積み上げていき、社会貢献につなげています。



## <認定NPO法人ブリッジフォースマイルへ寄付継続>

児童養護施設から社会へ巣立つ子どもたちの自立支援に取り組んでいる特定非営利活動法人ブリッジフォースマイルの活動を支援しています。

2020年の当社寄付は、“巣立ちプロジェクト”(※)に参加する子どもたちへの一人暮らし応援資金として活用されました。

※巣立ちプロジェクトとは、子どもたちが施設退所後に自立した社会生活が過ごせるように、一人暮らしで必要となる知識やスキルを習得する機会を設け生活必需品を支給する支援活動です。



©ブリッジフォースマイル

## 持続的発展への取組み⑤

- コーポレートガバナンスの強化を推進

### 1. 独立社外取締役を1/3選任（取締役総数：9名、内 独立社外取締役※：3名）

※他社での経営経験を有する者を含む

### 2. 指名・報酬委員会設置（2020年5月設置、3名で構成、内 社外取締役：2名）

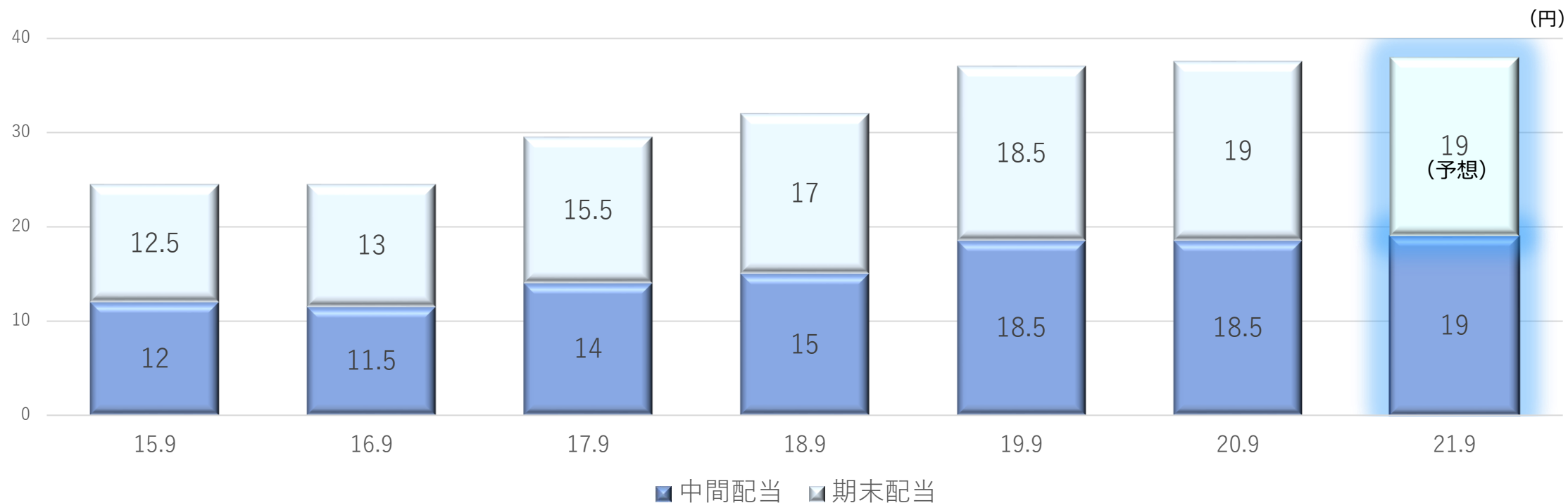
### 3. 議決権電子行使プラットフォームに参加（2019年12月開催定時株主総会より）

役職	氏名	独立役員	指名・報酬委員
代表取締役社長 社長執行役員	新谷 正伸		○
取締役兼執行役員	中村 浩人		
取締役兼執行役員	白井 浩		
取締役兼執行役員	進藤 健一		
取締役兼執行役員	水澤 俊明		
社外取締役	宮嶋 之雄	○	
取締役 監査等委員	西村 泰彦		
社外取締役 監査等委員	山田 洋之助	○	○
社外取締役 監査等委員	長谷川 麻子	○	○

# 株式還元

- 今後も中長期的な「一株当たり配当額」の増額に重点を置き、長期安定的な株主還元を行っていく方針
- 2021年9月期中間配当は前期比50銭の増配

	1株あたり配当		
	2Q末	4Q末予想	合計予想
2021年9月期	19円(50銭増配)	19円	38円



# 最適解への挑戦

Challenging ourselves for the BEST solution

ご清聴ありがとうございました。



## IRに関するお問い合わせ先

三洋貿易株式会社 経営戦略室室長 大谷 隆一

電話：03-3518-1111 e-mail：ir@sanyo-trading.co.jp

### 将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。